

令和6年度事業報告書

自 令和 6年4月 1日
至 令和 7年3月31日

1 事業概要

令和6年度の配合飼料価格は、輸入原料価格が前年度の異常な高騰と異なり、高値のまま安定的に推移したことにより、第4四半期まで補てんは実施されませんでした。

なお、令和6年度第1四半期に、借入金の圧縮を目的に分割交付が実施された令和5年度第2四半期分の残余（1,450 円/ t）が交付されました。

また、県単独事業として、令和6年度の対象となる配合飼料の積立金 800 円/ t に対し、200 円/ t の補助事業が実施され、畜産農家の負担軽減が図られました。

肉用子牛生産者補給金制度については、黒毛和種の子牛価格の下落により、昨年に引き続いて発動となり、第1四半期に 22,600 円/頭、第2四半期に 65,100 円/頭、第3四半期に 42,100 円/頭の補給金が支払われました。また、令和6年度補正予算で措置された肉用牛経営緊急支援事業（県単新規）により総額 4,621 千円が交付されました。

肉用牛肥育経営安定交付金制度については、令和6年度においても肥育経営の経営環境も厳しく、肉専用種が4月と12月を除く全ての月で、交雑種では6月から12月で、乳用種では全ての月で発動がありました。

一方、家畜衛生面においては、鳥インフルエンザの国内での発生が継続しており、また、海外からの観光客が増加する中、新たな悪性疾病の発生が危惧される状況でした。

このような厳しい情勢の中、当協会としては、会員傘下の畜産農家の健全な発展のため、会員各位と連携を密にして、主事業である配合飼料価格差補てん事業の円滑な推進及び各種の畜産振興対策事業を積極的に取り組みましたので、その概要を報告します。

2 会員の状況

会 員 名	期 首	期中増減	期 末
飼 料 荷 受 組 合	1 3	1	1 4
配合飼料製造業者	1 2	—	1 2
配合飼料販売業者	7	—	7
計	3 2	1	3 3

3 事業実施等実績

(1) 配合飼料価格差補てん事業

① 本年度の契約数量及び積立金

令和6年度中の契約数量及び積立金

(件、ト、%、円)

畜 種	当 初 契 約		畜種別 割 合	年 度 内				最 終 契 約		積 立 金 (800 円/ト)
	件数	数 量		転 入		解 約		件数	数 量	
				件数	数量	件数	数量			
乳 牛	55	8,595	3.0	—	—	2	34	53	8,561	
肉 牛	187	77,477	27.2	—	—	3	140	184	77,337	
豚	33	83,620	29.5	—	—	—	—	33	83,620	
採卵鶏	41	65,812	23.1	—	—	1	120	40	65,692	
肉用鶏	12	48,874	17.2	—	—	—	—	12	48,874	
計	328	284,378	100.0	—	—	6	294	322	284,084	

② 配合飼料価格差補てん金の交付実績

配合飼料価格差補てん事業については、第1～3四半期まで発動がありませんでした。なお、令和6年度第1四半期に、令和5年度第2四半期の分割補てん分の残余分（1,450 円/ t）の交付がありました。

区 分	第1四半期 (4月～6月)	第2四半期 (7月～9月)	第3四半期 (10月～12月)	第4四半期 (1月～3月)
補てん単価 (円/ t)	1,450	0	0	0
通常補てん金 (当期)	0	0	0	0
通常補てん金 (令和5年度第2)	1,450	0	0	0
異常補てん金	0	0	0	0
対象件数 (件)	324	—	—	—
契約数量 (kg)	67,955,000	—	—	—
補てん対象数量 (kg)	64,057,292	—	—	—
補てん率 (%)	94.3	0	0	0
補てん金額 (円)	92,833,066	0	0	0
(内訳) 通常補てん金	92,833,066	0	0	0
異常補てん金	0	0	0	0
1件当補てん額 (円)	286,522	0	0	0

③ 配合飼料価格安定基金の運営に関する実態調査の実施

(一社) 全日本配合飼料価格畜産安定基金の委託を受け、飼料荷受組合及び特約店における基金関係業務の実態調査を実施しました。(調査対象：1 飼料荷受組合、1 特約店)

(2) 畜産関係リース事業

(一財) 畜産環境整備機構と当協会との業務委託契約に基づき、畜産環境整備リース事業(旧 1/2 補助付きリース)及び畜産高度化支援リース事業(補助付きリース)に係る借受者に対する貸付料等の徴収、機構への納付などの業務を行いました。

(3) 肉用子牛生産者対策事業

肉用子牛生産者補給金制度（令和2年度～令和6年度）

肉用子牛価格が低落し、平均売買価格が保証基準価格を下回った場合には国からの補給金が、更に合理化目標価格を下回った場合には、国、県、生産者で積み立てた積立金を取り崩して生産者補給金を交付し、肉用子牛生産者の経営の安定を図るもので、事業主体である(一社)長崎県畜産物価格安定基金協会から業務の一部委託を受け、個体登録等及び生産者積立金の徴収等を行いました。

なお、本年度は、第1四半期から第3四半期まで黒毛和種のみ補給金の発動がありました。

ア 令和6年度の保証基準価格及び生産者積立金 (円/頭)

区 分		黒毛和種	乳 用 種	交 雑 種
保 証 基 準 価 格		564,000	164,000	274,000
合 理 化 目 標 価 格		444,000	110,000	216,000
生 産 者 積 立 金		1,600	6,800	3,200
負担 区分	機 構(1/2)	800	3,400	1,600
	県 (1/4)	400	1,700	800
	生産者(1/4)	400	1,700	800
平均 売買 価格	5年度 1～3月	562,200	173,600	347,700
	6年度 4～6月	541,400	177,500	318,500
	7～9月	498,900	201,700	299,500
	10～12月	521,900	201,300	329,400

注： 保証基準価格等及び負担区分は令和6年度を記載した。5年度1～3月分は異なる。

イ 補給金交付実績（黒毛和種）

	頭 数 (頭)	単 価(円)	補給金交付額(円)
5年度1～3月	—	—	—
6年度4～6月	287	22,600	6,486,200
7～9月	254	65,100	16,535,400
10～12月	325	42,100	13,682,500

ウ 令和6年度加入及び積立金の納付状況 (戸、頭、円)

区 分	契約戸数	個体登録 頭 数	積立金納付額
黒毛和種	4	1,298	519,200
乳 用 種	1	139	236,300
交 雑 種	2	2,869	2,295,200
計	5	4,306	3,050,700

(注) 1 委託費の計算期間が令和6年1～令和6年12月のため、個体登録頭数、積立金納付額は令和6年の数値で計上。

(4) 肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）

肉用牛肥育経営の収益性が悪化した場合に、生産者の抛出と機構の補助により造成した基金から粗収益と生産費との差額の9割を補てんすることにより、肉用牛肥育経営の安定を図るもので、（一社）長崎県畜産協会から業務の一部委託を受け、個体登録申込み及び販売報告等を行いました。なお、この制度は、令和7年4月から第3業務対象年間へ移行実施されています。

交付金の発動状況については、肉専用種は4月と12月を除き、交雑種は6月から12月まで、また、乳用種では全ての月で発動がありました。

① 令和6年度個体登録及び納付実績 （単位：頭、円）

区 分		肉専用種	交雑種	乳用種	計
個体登録頭数		9,243	4,262	312	13,817
負担金納付頭数		8,190	4,051	322	12,563
負担区分	農畜産業振興機構(3/4)	18,000	39,000	30,000	－
	生産者	5,000	11,960	9,120	－
	県	1,000	1,040	880	－
	生産者＋県（計）(1/4)	6,000	13,000	10,000	－
	計	24,000	52,000	40,000	－
生産者負担金納付額		40,950,000	48,449,960	2,936,640	92,336,600

注： 令和6年度生産者負担金納付実績（令和6年4月～令和7年3月）

② 交付金の交付実績

交付金発動状況：発動期間 令和6年1月～令和6年12月 （単位：頭、円）

月	肉専用種			交雑種			乳用種		
	頭数	単価	補填金額	頭数	単価	補填金額	頭数	単価	補填金額
1月	616	17,807.4	10,969,348	—	—	—	21	15,795.9	331,713
2月	446	36,396.0	16,232,616	—	—	—	23	18,615.6	428,158
3月	692	49,004.1	33,910,828	—	—	—	33	35,480.7	1,170,862
4月	—	—	—	—	—	—	32	19,021.5	608,687
5月	727	41,977.8	30,517,850	—	—	—	30	34,847.1	1,045,412
6月	686	53,770.5	36,886,555	331	23,265.9	7,701,007	46	41,036.4	1,887,673
7月	802	48,464.1	38,868,198	323	38,994.3	12,595,154	41	49,389.3	2,024,960
8月	553	78,694.2	43,517,882	342	3,827.7	1,309,069	23	53,922.6	1,240,219
9月	726	73,054.8	53,037,773	366	5,550.3	2,031,404	34	52,113.6	1,771,861

10月	872	73,170.0	63,804,240	440	3,477.6	1,530,141	24	42,574.5	1,021,787
11月	882	8,153.1	7,191,024	—	—	—	24	39,900.6	957,613
12月	—	—	—	—	—	—	25	40,308.3	1,007,707
計	7,002	10 (回)	334,936,314	1,802	5 (回)	25,166,775	356	12 (回)	13,496,652
総計			総頭数	9,160	総交付額	373,599,741			

(5) 肉豚経営安定交付金制度

平成23年度から、(独)農畜産業振興機構と養豚農家が直接契約する「直接交付方式」で実施されることになりました。基金協会としては、事務委託を希望する生産者との間で事務委託契約を締結し、従来どおり飼料荷受組合等との連携を図りながら受託者としてその業務を代行しました。

本年度は、補てん金の発動はありませんでした。また、年度途中において1名廃業しました。

① 令和6年度委託契約実績 (3月の出荷分までを集計)

受託件数 (件)	事業対象頭数(頭)	
	契約頭数	出荷頭数
17	111,962	104,129

② 1頭当たり積立金 (円)

1頭当たり 積立金	負担区分			
	農畜産業振興機構 (国3:生産者1)	生産者積立金		
		生産者	長崎県	計
1,600	1,200	336	64	400

(6) 肉用牛経営緊急支援事業 (県単)

肉用子牛の平均売買価格が、肉用子牛生産者補給金制度の保証基準価格を下回り、かつ四半期ごとに長崎県平均売買価格が全国平均価格を下回った場合に、販売又は保留された黒毛和種及び褐毛和種の肉用子牛を対象として、肉用牛経営緊急支援交付金(全国平均価格と長崎県平均価格の差額の1/3以内)を交付しました。

第1四半期	2戸	287頭×1,900円/頭＝	545,300円	
第2四半期	3戸	254頭×5,300円/頭＝	1,346,200円	
第3四半期	4戸	325頭×8,400円/頭＝	2,730,000円	計4,621,500円

(7) 長崎和牛肥育素牛導入事業 (県単)

長崎和牛の生産維持・拡大を図る農業者等を支援するため、一部一貫チャレンジ事業及び肥育素牛導入事業を実施し、肥育農家等に対し、増頭数に対して、県が素牛の導入経費の一部を助成しました。

① 一部一貫チャレンジ事業

繁殖農家が県内市場導入牛及び自家保留牛を、肥育の目的で導入あるいは保留して、増頭が図られる場合に支援しました。(新規100,000円/頭・2年目以降80,000円、限度100頭/経営体)

新規	30 頭	補助単価	100,000 円	補助金額	3,000,000 円
2年目以降	4 頭	補助単価	80,000 円	補助金額	320,000 円

② 肥育素牛導入事業（県内市場導入型・一般導入型）

肥育農家が肥育を目的として、肥育素牛を導入して増頭が図られる場合、県内家畜市場からの導入で 80,000 円/頭、それ以外の市場からの導入で 50,000 円/頭を支援しました。

（限度：合算して 100 頭/経営体）

県内市場導入型	131 頭	補助単価	80,000 円	補助金額	10,480,000 円
一般導入型	235 頭	補助単価	50,000 円	補助金額	11,750,000 円

(8) 飼料価格高騰緊急対策事業（県単）

飼料価格の高騰による畜産経営への影響緩和のため、飼料コスト低減に取り組む生産者の令和 6 年度の配合飼料価格安定制度に係る生産者積立金の一部を支援しました。

対象戸数 317 件 対象数量 284,084,000 kg×単価 200 円/t＝補助金額 56,816,800 円

4 管理運営事項

(1) 理事会・総会等の開催状況

開催日	会議名	主な決議又は決定事項等
令和6年 4月23日(水)	監事会 (長崎県計量検定所)	令和5年度決算監査
4月24日(木)	第1回理事会 (書面決議)	1 令和5年度事業報告書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び収支計算書の承認の件 2 令和6年度事業計画書及び収支予算書の一部変更の承認の件 3 令和6年度会費等の額、賦課方法、徴収時期及び徴収方法の承認の件 4 令和6年度役員報酬総額の承認の件 5 新会員加入の承認の件 6 任期満了に伴う役員選任の承認の件 7 第49回定時総会の招集及び附議事項の設定の件
5月27日(月)	第49回定時総会 (ホテルセントヒル長崎)	1 令和5年度貸借対照表、正味財産増減計算書の承認の件 2 令和6年度会費等の額、賦課方法、徴収時期及び徴収方法の承認の件 3 令和6年度役員報酬総額の承認の件 4 役員の任期満了に伴う役員改選の承認の件 報告事項 1 令和5年度事業報告書について 2 令和6年度事業計画書及び収支予算書について
5月27日(月)	臨時理事会 (ホテルセントヒル長崎)	任期満了に伴う理事長及び常務理事の選任の件
令和7年 3月26日(水)	第2回理事会 (ホテルセントヒル長崎)	1 令和7年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)の承認の件 報告事項 令和6年度事業の進捗状況報告について

(2) 主な諸会議等

年 月 日	内 容	場 所
令和 6. 5. 8	肉用子牛生産者補給金制度の生産者説明会（共同説明）	長崎市
5. 15	長崎和牛銘柄推進協議会幹事会	〃
5. 16	全国和牛能力共進会「長崎和牛」推進協議会出品対策委員会	〃
5. 28	長崎和牛銘柄推進協議会総会	〃
5. 29	長崎県資源循環型畜産確立推進指導協議会	〃
5. 30	長崎和牛肥育素牛導入事業等に関する会議	大村市
6. 7	豚熱防疫対策会議	WEB
6. 12	全国和牛能力共進会「長崎和牛」推進協議会通常総会	長崎市
6. 12	（一社）長崎県畜産協会通常理事会	〃
6. 18	（一社）全日本配合飼料価格畜産安定基金協会定時総会	東京都
6. 28	（一社）長崎県畜産協会定時総会	長崎市
6. 28	（一社）長崎県畜産物価格安定基金協会定時総会	〃
7. 3	全日畜ワークショップ「畜産経営の危機克服」	宮崎市
7. 17	飼料価格高騰緊急対策事業に係る長崎県調査	長崎市
7. 30	第3期ながさき肉用牛振興計画連絡会議	〃
7. 31	畜産高度化支援リース事業全国説明会	WEB
8. 7	全国和牛能力共進会「長崎和牛」推進協議会出品対策委員会	長崎市
8. 23	長崎県畜産物価格安定基金協会との打合せ	長崎市
9. 18	山口・九州地区配合飼料価格安定基金協会連絡協議会合同会議等	福岡市
10. 3～	山口・九州地区配合飼料価格安定基金協会連絡協議会事務職員研修会	大分市
10. 18	第1回鳥インフルエンザ防疫対策会議	WEB
10. 25	九州アグロ・イノベーション	福岡県
11. 12	第2回鳥インフルエンザ防疫対策会議	長崎市
11. 26	肉豚経営安定交付金制度に係る農畜産業振興機構調査	〃
11. 27	飼料基金関係説明会（九州地区）	福岡市
12. 5	肉用子牛生産者補給金制度の長崎県畜産物価格安定基金協会説明	長崎市
12. 16	全日畜危機克服セミナー	WEB
12. 20	飼料価格高騰緊急対策事業（県単独事業）説明会	〃
12. 24	肉用子牛生産者補給金制度打合せ（長崎県畜産物価格安定基金協会）	長崎市
令和 7. 1. 8	全国和牛能力共進会「長崎和牛」推進協議会出品対策委員会	〃
1. 8	配合飼料価格安定基金制度の運営に関する実態調査（1社・1組合）	島原市
1. 9	肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る推進会議	長崎市
1. 14	肉用子牛経営緊急支援事業打合せ（畜産課）	〃
1. 16	長崎県ランピースキン病対策連絡会議	〃
2. 4	第2回長崎県豚熱防疫対策会議	WEB
2. 4	肉用牛経営緊急支援事業説明会	〃
2. 21	長崎県資源循環型畜産確立推進指導協議会	長崎市
2. 21	農政課構造改善班所管事業等担当者会議	WEB
2. 26	ながさき農業気候変動総合対策事業等担当者説明会	〃

3. 4	令和7年度畜産関係事業説明会	〃
3. 5	全国和牛能力共進会「長崎和牛」推進協議会出品対策委員会	長崎市
3.26	令和7年会計検査院農林水産検査第3課会計実地検査説明会	長崎市